



国際ロータリー第2610地区
南砺ロータリークラブ



クラブ会報 **なんと**

NO. 2647

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/福光会館2Fサークルルーム1 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 福光駅前 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

森悦夫会長撮影



第2708回例会 令和6年8月15日(木)曇 25℃

- 《例会変更》 早朝例会 城端別院
- ◆点 鐘 6:15 久患龍三会長
- ◆司 会 谷村賢治SAA
- ◆ソング 「奉仕の理想」
- ◆ゲスト 城端別院輪番 亀淵 卓師
- ◆会長の時間 久患龍三会長

聖徳太子御木像
(南無仏太子) 善徳寺蔵



南無仏太子御木像
南無仏太子御木像は、聖徳太子の御木像で、善徳寺に蔵されています。この御木像は、聖徳太子の御木像で、善徳寺に蔵されています。

「AMラジオ時代の終焉か」
全国に47ある民放ラジオ事業者のうち13社が放送を休止し影響を調べる実証実験を始めている。1925年にAMで歩み出したラジオ放送、100年の節目を前に一つの時代が終わろうとしている。

かつてラジオは家の真ん中にあり家庭で楽しむメディアであった。昭和20年8月15日の昭和天皇の玉音放送など歴史的なニュースを人々に伝えてきた。やがてテレビ放送が始まると家庭の娯楽の中心はテレビとなります。白黒放送だった皇太子殿下と美智子さまのご成婚パレードに始まり、カラー放送が始まった東京オリンピックで一挙にその座をテレビにとって代わり、ラジオは一人で聞くものとなっていった。

私が学生時代に東京の6畳一間の間隙だらけの安アパートで、隣に音が聞こえないようにボリュームを最小限に絞って、さらに座布団をかぶせて聞いた深夜の音楽番組が「糸居五郎のオールナイトニッポン」でした。「オールナイトニッポン GOGOGO コーズオン」「夜更けの音楽ファンこんばんわ。朝方近くの音楽ファングッドモーニング。」

ビタースイートサンバの軽快なテーマソングと五郎さんの軽妙な語り口が今でも脳裏をよぎるとともに、数多くの名曲が私の記憶に刻まれて行きました。

近年のラジオ離れと、設備の老朽化に伴う巨額な更新費用が足かせとなり、AM放送は存亡に危機に立たされていますが、私の記憶の中の「糸居五郎のオールナイトニッポン」は、永遠に消え去ることはないでしょう。

本日のプログラム 8月27日(火) 第2709回例会
ロータリー情報・雑誌セミナー
担 当 古瀬喜八郎委員長

朝顔

◆幹事報告 森 悦夫幹事

- ①ロータリー研究会の開催案内受領… 会場：横浜
- ②例会変更案内受領…射水RC
- ③当クラブ9/3(火) 夜間例会 会場：「まねき」18:00～

★ニコニコボックス 8/15 野村 守副委員長

- 久患君 亀淵卓輪番さん卓話よろしくお祈いします。
- 古瀬君 今日元気で善徳寺様例会。合掌
- 木村君 お盆になり早1年が経ったのかと思います。家に戻ったら墓参りをしなければ…。
- 川合君 孫が星稜高校へ行っているの、同じ陸上部の同級生の実家が金沢駅前で寿司屋をやっているということで家族で食事を。初めての店でしたが楽しく食事できました。
- 市山君 お盆も終盤と暑い日が続いております。早朝例会、初めての例会参加でき嬉しく思います。
- 上坂君 本日これから健康診断のため楽しみにしていたあんころは少しおあずけです。
- 吉田実君 毎日、田んぼのヒエ取りや畔草刈でバテ気味です。お盆くらいはゆっくりしようと思います。
- 古軸君 今年もお盆の早朝例会に出席させて頂いて。
- 榊 君 両親にとって新盆です。柿の摘果もほぼ終わり、ほっとしています。
- 谷村賢君 お盆になってもまだまだ暑いですね。亀淵卓輪番様卓話よろしくお祈いします。
- 吉田美君 早朝例会でれずにすみません。野村守さんニコBOXy宜しくお祈いします。本田さんお餅楽しみです。
- 石崎和君 気持ちの良い朝ですね。
- 荒井君 盆前中はいろいろありがとうございました。今後とも宜しくお祈い致します。
- 牧 君 気持ちの良い朝になりました。
- 船藤君 亀淵卓輪番の卓話楽しみです。
- 本田君 あんころありがとうございました。店で待っていたお母さんに「沢山頼んでしてもー、待たせてごめんね！」と言ったら「昔は行列して買ったもんじゃ」と言われました。あんころ人気すごい！
- 尾山君 今年も亀淵卓輪番さまの講話承り感謝、感謝。
- 野村君 正月は大地震、お盆の今日、何もなければ・・・と願います。
- 井沢君 終戦日に想いをおこして。

9chで放送! (終了しました)

KIROKU
となみ野の企業人に聞く
株式会社 **福光工業**
代表取締役 高瀬和紀さん
南砺市一日市230番地
■放送時間 **[TST] 8/5~11**



◆出席報告 上坂英出席委員長

会員数	8月15日出席率	7月28日(修正)
45 (免除1)	62.22% (出28)	73.33% (出33内メーク2)

メークアップ: 片山浩一君、藤井一哉君。

次回の予定 9月3日(火) 第2710回例会
《例会変更》夜間例会 於:まねき 18:00
担 当 久患龍三会長



今日は親鸞聖人の生涯を通じて浄土真宗の教えを繙いていきたいと考えているが、3回の例会に分けて（3年）お話をしていきたい。
皆様方の資料には「安城御影」と言われている、一番有名な親鸞聖人の御影が掲載してあるが、手に数珠を持っており、右手が上になっている。この別院の仏像は反対になっており、左上の仏像と言われている。また、親鸞聖人の前にある草履は狸の皮で出来た草履で、前の箱はあんか、首には茶色のマフラーをしているので寒い時期だとわかる。また杖は鹿の骨で作られたもので、足元の赤いものは下着が赤いことがわかるが、これらのことから親鸞聖人は多くの人から慕われて貰ったものを身に付けておられると言われている。多くの人と共にある事を表しているのがこの御影から察することができる。

親鸞聖人は1173年4月1日(旧暦)に生まれ、亡くなったのが1263年11月28日(旧暦)で、東本願寺では旧暦の11月28日に、西本願寺では新暦の1月16日に報恩講を行う。

幼少時は松若丸または十八公磨(松磨)と名のり、俗名を藤井善信(よしざね)としたが、俗名は、罪を問われて越後へ流された時に政府によって付けられた名前であった。何故、罪に問われたのかと言うと「南無阿弥陀」を唱えただけで罪とされた。比叡山に修行していた時は範宴(はんえん)、法然聖人に弟子入りした時は綽空、その後法然聖人から善信または親鸞という法名を付けてもらい、越後へ入る時には「愚禿釋親鸞」と自分で名乗っている。

生まれたのは、宇治を越えて更に南の田舎の法界寺付近で、亡くなったのは京都の善法院である。弟子には善鸞(長男)、如信(孫)、河和田の唯円(歎異抄を執筆)、性信(一番弟子)などである。

時代背景として、保元の乱・平治の乱に代表されるような、貴族社会から武士社会に移り変わる政治、経済、社会の劇的な変化が起こる時代であった。親鸞聖人は平清盛が亡くなった頃に青蓮院で得度を受け、比叡山延暦寺で修学に入る(1181年)。その後、壇ノ浦の戦いでは平家が滅亡し鎌倉時代へ移る(1185年)。1201年には延暦寺を出て六角堂に参籠し、法然聖人の門下に入る。

平安時代は前期と後期では大きく変わっており、前期は天皇の周りには女官が仕え、天皇の言葉を太政大臣等へ伝える等、女性が活躍していたが、後期では、女官は皇后の周りしかいなくなかった。そして武士が活躍する時代へと変わり、天皇を囲む一派が主導権争いを始め、末法の時代に入ってきた(浄土へいけるのかという不安)というのが、貴族社会の受け止めであった。

親鸞聖人の心を表す歌に「**明日ありと思う心の仇桜、夜半に嵐の吹かぬものかは**」がある。

比叡山では20年にわたり、厳しい修行をされたが、赤石神社で出逢った女性から「仏法を聞くために比叡山へ連れて行って欲しい」と頼まれたが、「女人禁制のため出来ない」と断ったことが、後の親鸞聖人の生き方を大きく変える出来事となった。

親鸞聖人の土台は青蓮院での得度、比叡山時代の厳しい修行(一切経などを学ぶ)や「赤石神社の出来事」から、「貴方も私も同じ命を頂いているもの同士」という考え方が生まれ、これこそが「阿弥陀様の世界」、「仏法の世界」とであると私達に伝えている。

(今回の会報担当:古軸裕一)



安城御影



青蓮院(宸殿) お得殿の間



河内磯長叡福寺太子廟拝所



京都修学院赤山神社